

安全に  
使うための

# おつじとう 乙字湯の確認票

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に乙字湯を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状（発疹・発赤、かゆみ等）を起こしたりしたことがありますか？

いいえ

はい

服用できません

- 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？
- 現在、授乳中ですか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

- 以前に**大黄を含む漢方薬\*\***を服用して、激しい腹痛を伴う下痢やひどい腹痛を起こしたことがありますか？
- 以前に漢方薬を服用して、むくみを感じたことがありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

次のような症状がありますか？

- 痔（いぼ痔、きれ痔など）
- 軽度の脱肛
- 便秘

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

服用はおすすめできません\*

- 下痢をしやすいですか？
- 心臓に不具合はありますか？
- 腎臓に不具合はありますか？
- 血圧はひどく高いですか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

平素の体力はひどく虚弱ですか？

やや虚弱／中等度以上

ひどく虚弱

普段から便がかたく、便秘がちですか？

はい

いいえ

この漢方薬はあなたの体質・症状に合わないかもしれませんが、あなたの意思により服用可能です



服用できます

\* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

\*\* 該当する商品がわからない場合は、薬剤師または登録販売者にお尋ねください

きれ痔、便秘に使用する場合には、5～6日くらい服用しても症状がよくなる時は、医師、薬剤師、または登録販売者に相談してください。

本剤を服用中は他の下剤（瀉下剤）は服用しないでください。

## 効能・効果

体力中等度以上で、大便がかたく、便秘傾向のあるものの次の諸症：痔核（いぼ痔）、きれ痔、便秘、軽度の脱肛

## 日本漢方生薬製剤協会による主な商品例

一元錠剤乙字湯	一元製薬	「クラシエ」漢方乙字湯エキス錠	クラシエ薬品
ウチダの天地通暢	ウチダ和漢薬	JPS乙字湯エキス錠N	ジェーピーエス製薬
乙字湯Aエキス細粒「分包」三和生薬	三和生薬	ツムラ漢方乙字湯エキス顆粒	ツムラ
乙字湯エキス〔細粒〕3	松浦薬業	トチモトの乙字湯	栃本天海堂
乙字湯「タキザワ」	タキザワ漢方廠	モリ タイヂーン	大杉製薬
オツジンN「コタロー」	小太郎漢方製薬		

## 使用上の注意

### してはいけないこと

- 次の人は服用しないこと  
生後3ヵ月未満の乳児。
- 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと  
他の瀉下薬（下剤）
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦または妊娠していると思われる人。
  - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
  - 胃腸が弱く下痢しやすい人。
  - 高齢者。
  - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
  - 次の症状のある人。 むくみ
  - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

## 処方構成生薬

当帰、柴胡、黄芩、甘草、升麻、大黃

## 乙字湯の体力分類に対する適応度（服用される方の普段の体力でお考えください）

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
0	1	2	2	1

2：最適、1：適応可能、0：原則としては適さない

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。  
下痢
- 1ヵ月位（きれ痔、便秘に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。